

公益社団法人
MED 地域医療振興協会 湯沢町保健医療センター

センターだより 2月号

～ 歩み寄り かける言葉に 心が通う ～



〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢 2877-1
 TEL (病院) 186-025-780-6543 (歯科) 025-780-6544
 (人間ドック・健康診断) 025-785-5005
 URL: <http://yuzawa.jadecom.or.jp> Mail: yuzawahp@jadecom.jp



今月の専門外来診察日



診療科	医師	曜	診察日・その他
禁煙外来	常勤医	火・金 (各午後)	完全予約制になります。 お電話にて予約してください
コンタクト外来	岸田	木	25日 (お電話にて予約してください)
小児科 (アレルギー)	中島	金	5日 (午後は予約患者様のみ) 4月から毎月第1、第3金曜となります
口腔外科	戸谷 野田	10日 (水)、25日 (木)	歯科・口腔外科は予約制となります。 ☎025-780-6544 にお電話ください。

今月の休診予定



日	曜	診療科	医師	日	曜	診療科	医師
2～12 ※代わりの医師が担当します		地域家庭診療部	葉田	4	木	整形外科	高田
2	火		土屋	10	水	外科	菊川
8	月		井上	29	月	眼科	寺内
22～24			浅井	2 (火)・3 (水)		歯科	笠原
12	金		西谷	24 (水)・25 (木)			
24	水		鈴木	13・27	土		
25	木				18 (木)	眼科岸田医師の代わりに別の医師が担当します。	

浅貝出張診療



下記の日程で冬季浅貝地区出張診療を行います。受診を希望される方は診療日前日までにセンターまでお電話ください。お電話がどなたからもない場合は、休診となりますので予めご了承下さい。

- 【診療日】平成28年2月25日
 平成28年3月10日・24日 } いずれも木曜日となります
- 【場所】浅貝公民館
- 【時間】14時30分～15時30分
- 【その他】診療日前日までに湯沢町保健医療センターへお問合せ下さい。



職員募集



私達と一緒に町民に愛される病院作りをしませんか？看護師、准看護師、検査技師、診療放射線技師を募集しております。院内見学も適宜行っております。まずは当センターまでご連絡ください。

事業所名：公益社団法人地域医療振興協会 湯沢町保健医療センター（町立湯沢病院）

地域医療振興協会は 1986 年に、「地域医療の確保と質の向上を図り、もって地域の振興を図る」ことを目的として設立された公益社団法人です。北海道から沖縄まで日本全国で 61 もの施設を運営し、地域医療の発展に寄与すべく日々活動しています。全国各地の運営施設では、幅広い業種において地域医療の発展、充実に貢献する人材を求めています。

業務：【看護師、准看護師】（正職員・臨時職員）

外来（救急、内視鏡、訪問看護、訪問診療、人間ドック等）、3 階一般病棟、4 階療養病、地域連携室兼患者相談室 の何れかに配属されます。

【検査技師・診療放射線技師】（臨時職員）

入院・外来・健診施設等、患者様の該当所属における各種検査業務等

必要な資格：【看護師】看護師免許 【准看護師】准看護師免許

【検査技師・放射線技師】診療放射線技師免許

雇用形態：【看護師・准看護師】正職員、臨時職員、パート職員（ご要望を伺います）

【検査技師・診療放射線技師】臨時職員（午前中のみとなります）

給与・手当：公益社団法人地域医療振興協会職員給与規程による ※経験年数によって変動

その他：院内託児所あり（夜勤対応 2 回／月）、奨学金制度あり（准看護師⇒看護師）

平成 20 年より電子カルテ導入、同法人内の医療機関で研修等も可能

詳しくはハローワークでもご確認できます。



看護の部屋



11 月よりお世話になっております、岡村小百合と申します。看護の仕事に就くのは初めてで、まだまだ未熟な面も多く、ご迷惑をお掛けする事もあるかと思いますが、色々ご教授くださいますようお願い致します。患者様のお役に立てるよう精一杯頑張りたいと思います。

【一般病棟 看護助手 おかむら 岡村 さゆり 小百合】

ご意見箱より



◇ 消毒薬が使えるようにしてください。

【匿名】

⇒御意見ありがとうございます。手指消毒薬は、地下 1 階エレベーター前・1 階入り口・歯科・病棟エレベーター前に設置してあります。そのほかにも ご希望箇所がありましたらお知らせください。

【患者相談室兼地域連携室 室長 高橋】



インフルエンザ等感染症流行中です！

入院患者様への面会に制限について

当センターでは、入院中の患者様への感染拡大防止のための措置として、インフルエンザなど感染症流行時には、入院患者様と同居するご家族以外の面会を制限させて頂いております。

面会を制限させていただく方

- ・ 入院患者様の同居するご家族以外の方
- ・ ご家族であっても小学生までのお子様
- ・ ご家族であっても以下の方
 - (ア) 発熱（微熱も含む）、咳、鼻水、咽頭痛、下痢、嘔吐等の症状のある方
 - (イ) インフルエンザ等の感染症の可能性のある方
 - (ウ) 学校、職場、同居する家族に上記の感染症状がある方



- 面会される方は**マスクの着用、手指衛生、面会簿の記入**の上、**短時間**でお願いいたします。
- 重篤な患者様の面会等は状況により対応しますので、**必ず病棟看護師にお尋ねください。**

入院中のみなさま、ご家族のみなさまにご迷惑をおかけしますが、院内感染防止のためご協力よろしくお願いいたします。

【センター長 浅井 泰博・院内感染防止対策委員会】

お知らせ



- ★ センター地下駐車場は、センター利用者様の為の駐車場となっております。センター利用者以外の方の利用はご遠慮いただきますようお願い致します。不正に駐車をされている車輛は警察へ通報致します。
- ★ 白内障手術、CTスキャンを用いた内臓脂肪測定、液体窒素による「手足にできるいぼ(ウイルス性)」の冷凍凝固療法の各診療・治療を行っております。ご希望の方は外来看護師にお問い合わせ下さい。
- ★ 外来の予約変更は予約日前日までの、14:00～16:30(土日祝日を除く)でお受けしております。予約日当日の変更・過ぎてしまった予約の変更は原則行えません。
- ★ 健康増進施設では、人間ドック、一般健康診断、生活習慣病予防健診、特定健康診断を行っています。予約制ですので、事前にお問い合わせください。



- ★ 新潟県では、夜間にお子さんの急病で困っている方のために「小児救急医療電話相談」を毎日 午後 7 時から午後 11 時まで 025-288-2525 で行っております。専門の看護師が対応しており、相談料金は無料です。(ただし、電話料金は御負担いただきます。)

今月の話題



非正統的医療？エセ医療？

〜〜 東京の空の下から 〜



身内が難しい病気にかかり、その人の息子がいとこである私に、「〇〇療法を受けさせたいので一緒に△△病院に来てほしい」と言って来ました。(身内とは言えプライバシーがあるので、話の本筋に関係ない所は脚色いたします。) その〇〇療法というの、私はその名前くらいしか聞いたことがありません。仮にも病院と名の付くところで行なっている療法ですから、「祈りの壺」レベルの怪しさではなさそうですが、まあせいぜい上品な言い方をするとしても、業界の評価は定まっていない療法ではあります。

非正統的な医療にもレベルがあります。決して一般的ではないし、目玉が飛び出るほど料金もかかりますが、金に糸目を付けなければ効果は実証済み、という療法もあります。ちょっと身近な例で言えば、インプラントとか金歯がイメージしやすいでしょうか。(歯科医療業界の方には不快な思いをさせたかもしれませんが、私は「良い例」として挙げたつもりです。) 対極にあるのが医療とすら認められていない「祈りの壺」レベルの箸にも棒にもかからない怪しさ満点のインチキ療法です。

今回一緒に来てほしいと言われた〇〇療法は、その中間に当たるのでしょうか。インチキだと言って唾棄されているわけでもない代わりに、金に糸目を付けなければ、受けられるものなら受けさせたい療法というほど医療業界で認知されているわけでもありません。もしかしたら今後の研究の発展次第では、効果抜群の療法に成長して行くかもしれませんので、営業妨害に当たるようなことは言わないことにします。

ここで私が言いたいことは、外面的にはインチキ療法と見分けが付かないよね、ということです。これは医師である私だから感じたことかもしれません。医療関係者ではないところは、仮にも病院と名の付く所で、仮にも医師免許を持った人から何かありがたそうな話を聞いて、大枚をはたく決心を付けたようです。私としては「やめとけよ」と言うほどの怪しい話でもありませんでしたが、「大事なおじさんのことだから、金のことなんか度外視して是非ともお願いしろ」と言うほどでもありませんでした。少なくとも害はなさそうだし、悔いが残らないようにしろよ、という基本スタンスを示しつつ、文字通りはっきりと私の感想を述べました。「絶対に自分の病院には責任が降りかからないようになっている。」

(1) 「必ず効く」とは言いませんでした。正直でよろしい、さすが「祈りの壺」とは違う、と好意に受け取ることもできますが、同業者のひねくれた見方なのかどうか、私には「効かなくても知りません」という調子に”聞こえました”。病気の治療に関する準委任契約ではなく、その〇〇療法を行うことに限定した契約なので、そういう言い方になるのももっともなのかもしれませんが。

(2) 普通の医療と並行するのが原則とのことでした。これも当たり前なのかもしれませんが、〇〇療法単独では無理なのかもしれません。うまく治れば〇〇療法のお蔭。うまくいかなくても、それは病気の方が強かったから。ということでは、どう転んでも不平不満の向けられようがありません。私も不平不満が好きなのわけではありませんが、やはりうまく行かなければ不平不満を向けられるのもやむなしという覚悟の中で仕事をしています。そういう私からは、医師としての覚悟というものが感じられないように思いました。

(3) 主治医の許可をもらって下さいとも言われました。これもまた医療人なら当たり前のことで、別々の病院でろくに連絡も取り合わず、勝手に医療行為を行うことは不適切なことです。これもまた医師ならではの私のひねくれた受け止めかたなののでしょうか、当たり前のこととは思いつつ、責任逃れのように”聞こえて”なりません。

祈りの壺とかにホトホト頭に来ているばかりに、人間不信に陥っているだけかもしれません。一つ一つ冷静に考えてみれば、あまりにも当たり前のことで、怪しむ理由にはならないのかもしれません。治療法そのものが、まだ確立していないこともさることながら、何か逃げの姿勢のような、そんなところが気になってしかたがありませんでした。その療法自体の問題よりも、たまたま出合った医師個人の人当たりの問題かもしれません。目玉が飛び出そうな料金も、その全てが利益になるわけではありません。経費もまた膨大にかかるのでしょうか。それにしても、テレビでよく見るセレブ御用達みたいな感じのおしゃれな病院でしたね。ただでさえ未確立な治療を古ぼけた病院でやっていたら誰も来ませんか。

私でも、と言っては何ですが、医師をやっている私でも真価を計り兼ねるこの〇〇療法(ちなみに日本中けっこういろいろな病院でやっています。新潟県でも。)、誰だったら判断できるのでしょうか。絶望的な気分になって来ます。